

2018.06.14

会員の皆様、こんにちは。

近頃、日本国内でも勢いのあるベンチャー企業が増えてきました。IT、医療・ヘルスケア、工業、農業…その分野は多岐に渡り、私たちの生活でもスマートフォンで何気なく使っている便利アプリも、実はベンチャー企業が開発したものであったりします。

今回は、『国内トップクラスのベンチャー企業は？』がテーマです。アメリカに比べるとまだまだ企業数や、投資をするベンチャーキャピタルも少ないのが現状です。その中、日本のベンチャー企業がさらに世界的に活躍できるように企業を支援する事業をご紹介します。

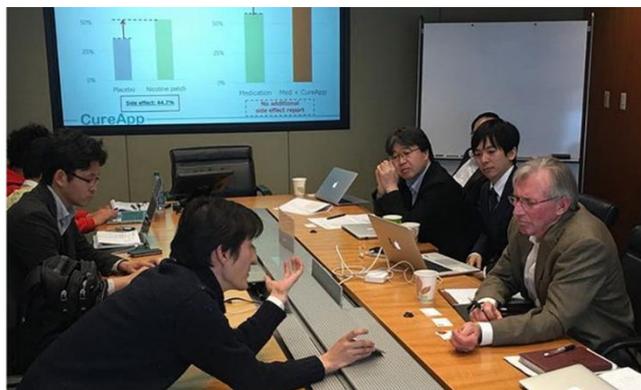
石田まさひろ政策研究会

## 国内トップクラスのベンチャー企業は？

経済産業省では、高い技術や優れた事業アイデアを持つ日本の有望な中堅・中小・ベンチャー企業を 55 社選定し世界のイノベーション拠点に派遣するプログラム、「飛躍 Next Enterprise」を平成 28 年から開始している。

### ■ シリコンバレーとの架け橋

平成 27 年 4 月に、安倍総理大臣がシリコンバレーで、「シリコンバレーとの架け橋プロジェクト」を発表した。日本全国各地から、高い技術力や優れた事業アイデアを持つベンチャー企業を募り、選抜された派遣企業がシリコンバレーをはじめとする世界各地と日本の起業家・企業をつなぐことを目的としている。そこで、世界各地でベンチャー・エコシステムの仕組みと活用方法を知り、海外進出に必要な知見と人脈を早期に獲得し、世界の課題解決に寄与するビジネスをグローバルに展開させていき



たい狙いがある。つまり、シリコンバレーをはじめとする世界のイノベーション先進都市にベンチャー企業を派遣し、人材・企業・機会の観点からシリコンバレーの資源を活かすプロジェクトなのだ。

### ■ 厳正な審査を勝ち残った 55 社

全国から 202 社の応募があり、外部有識者、運営事務局、経済産業省からなる審査委員会で審査を行った。技術力、製品・サービスの優位性などの観点で厳正な審査が行われ、有望な起業が 55 社選定された。

## ■ 海外展開を目指すベンチャー企業たち

派遣企業は、医療・福祉分野、金融分野、農業分野など幅広い分野に渡っており、AI、ドローン、センサーなどの新技術や高度な知識を用いて果敢にイノベーションを行っているのが特徴だ。また、災害・防犯、通訳機能、顔認証など、今後我々の生活を著しく変え、豊かにするポテンシャルを秘めた企業ばかりだ。

例えば、世界初全自動衣類折りたたみ機を開発したセブン・ドリーマーズ・ラボラトリーズ株式会社、ソフトウェアを活用して今まで治療しきれなかった病気の治療を目指す株式会社キュア・アップ、働く女性のためのジャージワンピースブランドを手掛ける kay me 株式会社といった企業が参加している。

## ■ 外国に派遣して、海外の起業家と交流

選ばれし企業は、シリコンバレーやニューヨーク、シンガポールなどへ派遣される。

具体的な派遣先は、ベンチャーキャピタル、投資家、アクセラレータ、インキュベータ、専門家（コーディネーター、弁護士等）、現地進出を果たした日系企業、日経ベンチャー企業、起業家などである。

現地派遣先では、海外進出プランのプレゼンテーション、現地のベンチャー関係者や専門家等からのメンタリング（商習慣、法務、規制制度等）、インキュベーション施設など現地進出の足がかりとなる施設・現

## 現地での主な派遣先と活動内容

### ◆ 派遣先

- ・ベンチャーキャピタル
- ・投資家
- ・アクセラレータ
- ・インキュベータ
- ・専門家  
（コーディネーター、弁護士等）
- ・現地進出を果たした日系企業
- ・日経ベンチャー企業
- ・起業家

### ◆ 派遣先での活動内容

- ・現地派遣先での海外進出プランのプレゼンテーション
- ・現地のベンチャー関係者や専門家等からのメンタリング（商習慣、法務、規制制度）
- ・インキュベーション施設など現地進出の足がかりとなる施設・現地企業への訪問
- ・ミートアップへの参加を通じたネットワーク形成（事業パートナーの発掘）

地企業への訪問、ミートアップへの参加を通じたネットワーク形成（事業パートナーの発掘）などの活動が行われ、さらに自社の可能性を広げる。

海外でさらなるチャンスを得て成長した日本発のベンチャー企業が世界を牽引する日が待ち遠しい。

著者：ベンチャー戦士応援隊